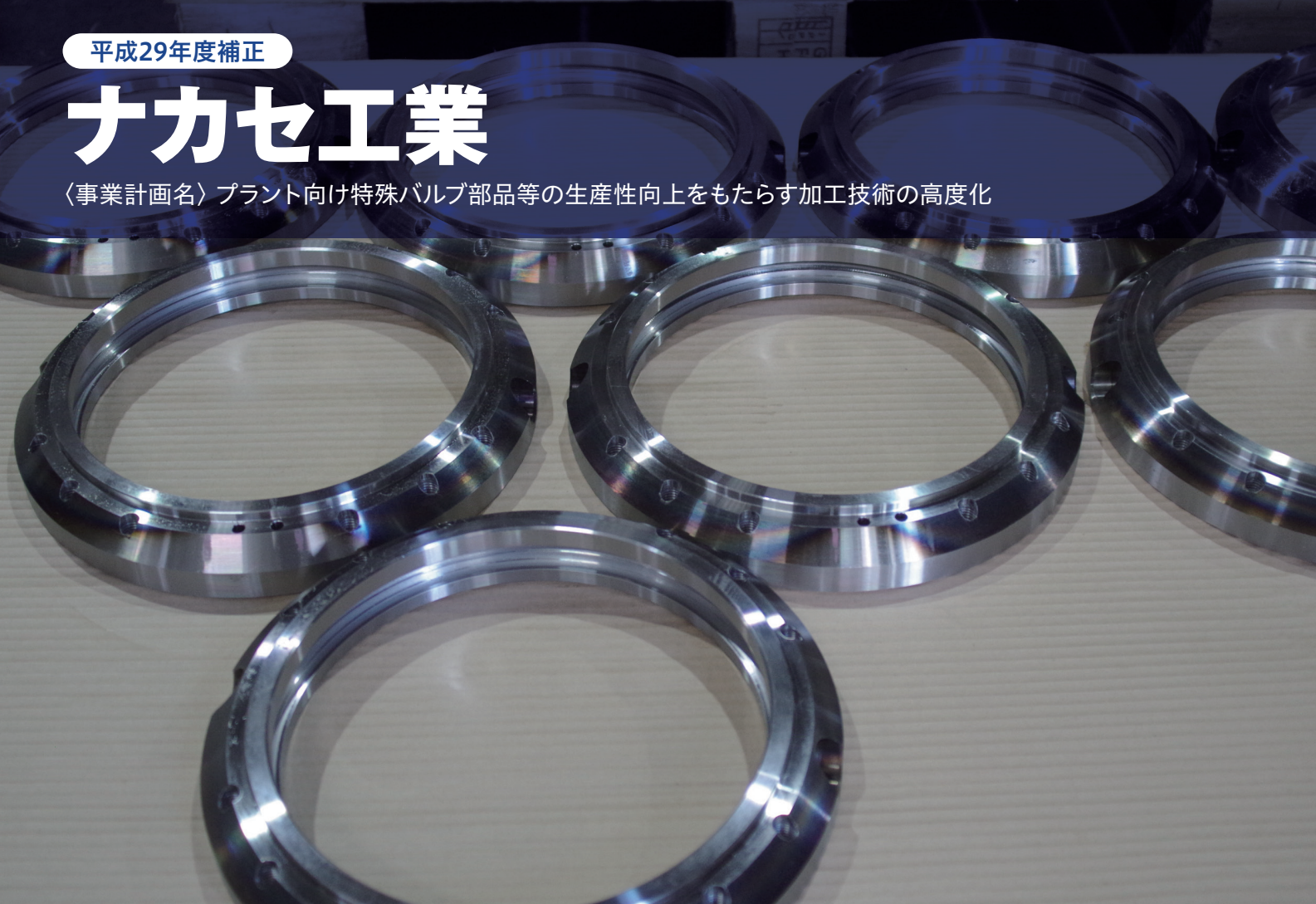


ナカセ工業

〈事業計画名〉プラント向け特殊バルブ部品等の生産性向上をもたらす加工技術の高度化



ボトルネック解消による生産効率向上 独自技術を最大限に発揮させる体制の構築

事業の背景

ボトルネック工程の解消

当事業所の主軸事業である「特殊バルブ」は、液体・気体などの流体制御機器として、世界各国のあらゆる分野におけるプラント・工場などで使用されている部品である。

近年、アジア・アフリカ系の新興国を中心とするインフラ整備を背景としたプラント・工場の建設・増改築・大型化・メンテナンスによる日本製特殊バルブ製品の需要が増大しており、要求される仕様は年々高度化・大型化している傾向が見られる。その為、主要顧客より生産力向上と大型化対応の要請が出されていた。

当事業所では独自の切削加工技術を確立しており、同業他社と比較しても約3分の1程度しかリードタイムが掛からない技術を有しているが、現有機の機械剛性により“ビビリ”振動が発生してしまい、理論上の加工速度が出ずボトルネックとなっていた。また、現有機では治具固定サイズに限界があった為、本事業において独自技術を満遍なく活用できる機能を有した設備を導入し、顧客ニーズに応える生産体制の改善を目指す。

事業の成果

生産効率向上と対応サイズの拡大

本事業において、独自技術を活用する為の機能・剛性を有した機械を選定し導入した。これにより、独自技術を適用しても“ビビリ”振動が発生することなく、想定通りの加工時間を達成。リードタイムを現状の40分から10分へ短縮する事ができ、生産効率を2倍以上に向上させる結果となった。また、長尺対応が可能となり、今までは直径60mm／長さ300mmが上限だったが、直径70mm／長さ800mmまで対応サイズを拡大。独自加工技術を最大限発揮できる生産環境が整い、顧客ニーズに充分対応できる状況となった。



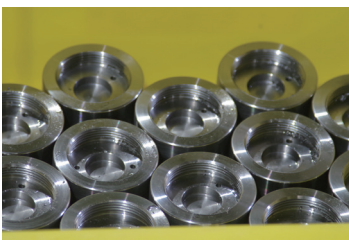
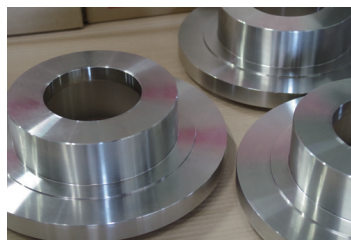
ナカセ工業の概要

バルブメーカーからの独立創業

当事業所は平成4年創業。元々は創業者が現主要顧客のアスカ工業㈱に勤務しており、独立して外注協力業者として設立されたという経緯がある。

創業当初は特殊バルブ部品専門として事業を展開。金属加工業の中でも特にニッチな領域であるが、その割に広く海外展開されており、顧客や当事業所の独自技術といった機密情報も少なくない。その為、万が一の情報流出防止の観点から、表立った事業展開はせず従業員の増員を最小限に留め、少数精鋭の“黒子”に徹した事業展開を長年行ってきた。

近年はものづくり補助金などによる設備投資が進み、特殊バルブ部品を主軸としながら、建機などの各種金属部品の加工・製造など、事業領域を拡大する方向へ方針転換を図っている。



ナカセ工業の技術

合金系特殊材の加工／量産にも対応

特殊バルブ部品に使われる材質は、その製品特性から一般的にはあまり使用されない特殊合金が使われる事が多く、金属加工業者すら認知していない合金もある。

当事業所では一般的な金属・非鉄金属を始めとして、ハステロイ、コルモノイ、ステライト等、特殊合金の切削加工を得意としており、大型部品・特殊部品など幅広く対応している。

従来は1ロット1点～4点程度までの対応だったが、設備投資を進め、万単位の量産が可能な生産体制を構築し、対応可能なサイズも広がった。今後はワンオフの特殊部品のみではなく、量産の汎用部品にも事業領域を展開していく。

対応可能材

- 鉄、ステンレス、ニッケル、チタン
- ニッケル基合金(ハステロイ、コルモノイ、インコネル)
- コバルト基合金(ステライト、トリバロイ)
- 他(要相談)

対応可能サイズ・数量など

- 最大直径800mm／長さ1300mmまで
- 大型ネジ／特殊大型ネジ対応
- 最小ロット1点から、量産ロットは万単位まで対応

ナカセ工業

業 種 分 類 はん用機械器具製造業

事 業 内 容 特殊バルブ部品および各種金属部品の加工・製造

代 表 者 名 代表 中田 庸平

所 在 地 奈良県天理市南六条町104-1

連 絡 先 TEL:0743-64-4570／FAX:0743-64-4522

E - M A I L nakase4570@icloud.com